



SVI NEWS

SVI公式HPは [コチラ](#) **S**cience **V**illage in **I**TOSHIMA

◆SVI NEWS を発行します

糸島市の九州大学周辺で研究開発、産業、居住などの機能を小規模に分散して開発し、新たな「科学の村」を創る「糸島サイエンス・ヴィレッジ (SVI)」構想。

この取り組みを幅広く周知するとともに、多くの仲間が集い、つながり、創り出すSVIを実現するため情報便「SVInews」を発行します。

◆経緯 (SVIとは?)

糸島市では1,500人を超える九大生が生活していますが、卒業後は関東圏で就職するなど多くの優秀な人材が域外に流出しており、地元糸島への定着率は高くありません。

また、今後もイノベーションが次々に生まれるような研究所の立地など、学術研究都市の更なる推進が求められています。

そのような課題を解決するため、糸島市ではさまざまな分野の企業・研究者などが集積し、イノベーションや新産業が生まれ、地域と大学の学生・教職員などが活発に交流する学術研究都市を創る「糸島サイエンス・ヴィレッジ (Science Village in ITOSHIMA)」構想を策定しました。糸島の自然環境や九州大学の特長を活かした独自の学術研究都市構築に向けた取組がスタートしました。

写真右：セトルインターナショナル
写真左：グローバルホテル糸島



大学南側では、「糸島市九州大学国際村構想」に基づき、留学生寮や国際ホテルなどの整備が完了。「国際村」と「科学の村」が相互に影響し合いながら大学連携のまちづくりを進めていく。

◆一般社団法人SVI推進協議会を設立

令和3年10月1日に、糸島市と九州大学や民間企業、金融機関が一体となって「一般社団法人SVI推進協議会」を設立しました。

この法人は、「糸島市サイエンス・ヴィレッジ」の実現に向け、糸島市や九州大学、民間企業や銀行が社員となり設立した社団法人です。

この法人を設立したことにより、各団体の特長を最大限に活かしつつ、さまざまな取組を有機的に結び付けながら具体的な事業を展開していく基盤ができあがりました。



設立記者会見の写真

◆まずはここから

これまでの関係者で議論を重ね、SVI実現のためには大規模開発などを行う前に、SVIに興味がある方の実証実験などが可能な「スモールスタート」の場が必要という結論に至りました。

そこで、大学に隣接しており、かつ市が所有している「旧清掃センター」に着目。ここは、平成11年に閉所して以来土地・建物が使われずそのまま残されていました。

まずはここを拠点「はじまりの地」として活用し、いつも実証実験を繰り返すことで「ショーケース」を創り、国内外の研究者や企業に魅せる場所づくりを開始します。



大学に隣接する「はじまりの地」